ミケランジェロ・アントニオーニ

Michelangelo Antonioni

生年月日 1912/09/29
出身地 イタリア／フェルラーラ
没年 2007/07/30

【バイオグラフィ】
■学生時代からイタリアの地方紙に映画批評を寄稿し、３９年に映画雑誌“チネマ”の編集部員となる。４２年にロベルト・ロッセリーニ監督のもとでシナリオを執筆、同年にマルセル・カルネ監督の「悪魔が夜来る」に助監督として参加、５０年に「愛と殺意」で長編監督デビューを果たす。６０年の「情事」がカンヌ映画祭で審査員特別賞を受賞、世界的に名を知られるようになる。「太陽はひとりぼっち」、「赤い砂漠」など、現代人の孤独や絶望感を描くのが特徴である。８６年に「ある女の存在証明」に出演した女優と再婚した。

【フィルモグラフィ】

愛の神、エロス（2004）	監督,原案
ミケランジェロのまささし（2004）	監督
マーティン・スコセッシ　私のイタリア映画旅行（1999）	出演
愛のめぐりあい（1995）	監督,脚本
映画を作ることが生きることだ（1995）	出演
ある女の存在証明（1982）	監督,原案,脚本,編集
６６６号室（1982）	出演
さすらいの二人（1974）	監督,脚本
砂丘（1970）	監督,原案,脚本
欲望（1966）	監督,脚本
赤い砂漠（1964）	監督,脚本
太陽はひとりぼっち（1962）	監督,脚本
夜（1961）	監督,原案,脚本
情事（1960）	監督,原案,脚本
さすらい（1957）	監督,脚本
女ともだち（1956）	監督
街の恋（1953）	監督
敗北者たち（1953）	監督,脚本
白い酋長（1951）	原案
愛と殺意（1950）	監督,脚本
荒野の抱擁（1947）	脚本
悪魔が夜来る（1942）	助監督
ギリシャからの帰還（1941）	脚本

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.